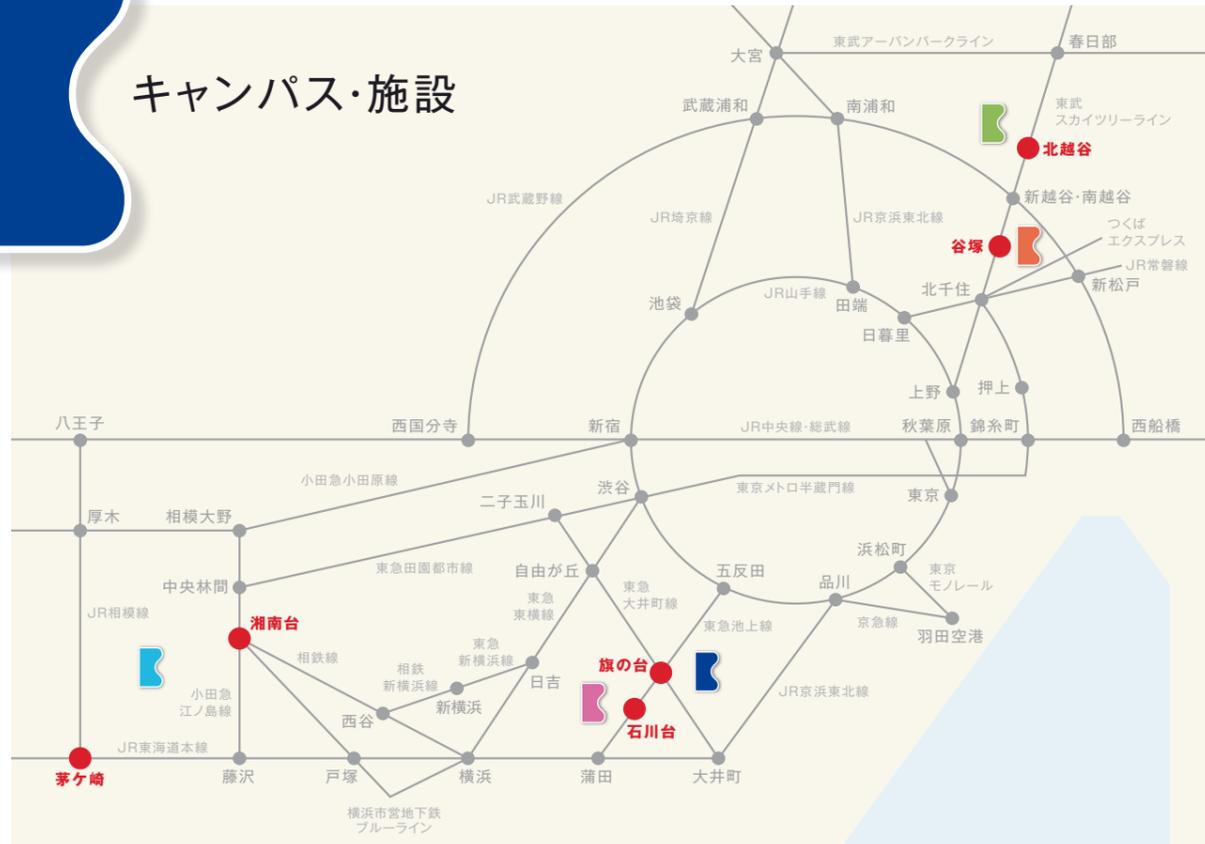


キャンパス・施設



越谷キャンパス

- 大学 [教育学部/人間科学部/文学部]
- 大学院 専攻科 外国人留学生別科
- 大学付属研究所 大学院付属研究所



所在地:〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
電話番号:048-974-8811(代)

湘南キャンパス

- 大学 [情報学部/健康栄養学部]
- 大学院 大学付属研究所



所在地:〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
電話番号:0467-53-2111(代)

東京あだちキャンパス

- 大学 [国際学部/経営学部]
- 大学院



所在地:〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1
電話番号:03-5686-8577(代)

旗の台キャンパス

- 付属中学校・高等学校
- 付属幼稚園



所在地:〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
電話番号:03-3783-5511(代)

石川台キャンパス

- 付属小学校



所在地:〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
電話番号:03-3720-1097

八ヶ岳寮 (厚生施設)

八ヶ岳連峰を眺望する清里高原に、文教大学学園の八ヶ岳寮があります。在校生、教職員だけでなく、在校生のご家族、卒業生の皆さまもご利用いただけます。

所在地:〒407-0301
山梨県北杜市高根町清里3545
電話番号:0551-48-2607



2024
2025

学校法人文教大学学園

幼稚園から大学院まで、 1万人の学び舎。

文教大学学園は1927年に創立。
「人間愛」を建学の精神に据え、
附属幼稚園から大学院までを擁する
学習者1万人規模の総合学園に発展しました。

文教大学附属幼稚園	133名
文教大学附属小学校	332名
文教大学附属中学校	448名
文教大学附属高等学校	928名
文教大学	8,197名
文教大学大学院	85名
文教大学外国人留学生別科	4名

(2023年5月1日現在)



建学の精神は「人間愛」

文教大学学園は、1927(昭和2)年の創立以来、現在では文教大学、附属幼稚園、附属小学校及び附属中学校・高等学校を擁する総合学園に発展してまいりました。その建学の精神は「人間愛」です。「人間」とは、その字が示すように、「間柄」の存在です。人間愛の具体的な形の一つは、人が人を思いやる心、あるいは相手を尊重する心だと思います。

人がつらくかないしい思いをしていれば力になってあげたいと思う。人が少しでも良い状況に向かえば、それを自分のことのように喜ぶ。その心の在り様は、文教大学学園の「人間愛」の核心部分とあってよいでしょう。

学園での「人間愛」の取り組みは人それぞれです。「人間愛」を、ある人は「思いやり」、ある人は「寛容に受け入れる気持ち」、またある人は「小さな勇気」だと受け止めるかもしれません。その考えを大事にして行動につなげてもらえればよいと思います。学園は2027年に創立100周年を迎えます。学園の次のステージに向けて、私たち教職員は新たな気持ちで、園児・児童・生徒・学生の皆さんとともに、力強く一歩を踏み出したいと思います。

理事長 **野島 正也** Nojima Masaya

2023年度 文教大学学園スポーツ・学術優秀功績者

舘 陽音子(附属小学校3学年)

第25回 ショパン国際ピアノコンクール in ASIA ソロ部門 小学3・4年生部門 全国大会:金賞 / アジア大会:奨励賞
第25回 ショパン国際ピアノコンクール in ASIA コンチェルト部門 I(小学6年生以下)部門 全国大会:金賞 / アジア大会:金賞

佐藤 和奏(附属小学校4学年)

「国連を支える世界こども未来会議~プロジェクト発表イベント in New York~」参加及び発表

付属幼稚園

【旗の台キャンパス】
所在地:〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
電話番号:03-3781-2798



幼児教育は
今後の人間形成の基礎づくり

園長 中山 敦子 Nakayama Atsuko

本学園の創設時より、脈々と受け継がれてきた建学の精神「人間愛」を教育の方針として継承しながら、本幼稚園では「素直で明るい元気な子ども」を教育目標としてきました。それは、元気に挨拶ができ、正しい生活習慣を身に付けた子ども。慈愛・感謝の気持ちや思いやりの心を持ち、感じたことを素直に表現できる子ども。自分の役割を果たすとともに、自分のことは自分でやろうと努力する子ども。好奇心が旺盛で、自ら積極的に行動できる子どもの育成です。子どもたちの生きる力の基礎となる「意欲」「態度」「心情」などを育てていくため、個々の幼児に応じた指導を工夫し、それぞれの個性の伸長に力を注ぎ、のびのびとした教育の実践など、充実した教育活動の提供を行い、後の人間形成の基礎づくりになるよう大切に育ててまいります。

主な活動



お泊まり保育(年長組)

富士山が見える御殿場で「お泊まり保育」を実施しました。親元を離れて過ごす1泊2日です。不安な顔で出発した子どもたちも、帰る頃には笑顔で「ただいま」と言えるほど楽しい時間となりました。東京ではできないたくさんのお泊まり体験、ひと回り遅くなりました。



親子遠足(年少・年中組)

5月、緑あふれる都会のオアシス(結緑地公園)にて親子遠足を行いました。親子で一緒にダンスや触れ合いゲームをしたり、保護者同士の親睦を深めたり、おいしいお弁当を食べたりなど幼稚園の中ではできない楽しい企画を満喫しました。



夕涼み会(全園児)

1学期の最終日は、父母の会・おやじの会の協力のもと「夕涼み会」を実施しています。盆踊りをはじめ、夏ならではの楽しい体験から季節を感じとり、また情緒豊かに育ってほしいと願っています。この行事には、高校生のボランティアにも力を借りています。



文教こどもまつり(全園児)

父母の会主催の「文教こどもまつり」は、秋に実施されます。子どもたちの笑顔のために活動しています。当日は、会場の様子を見て「おもしろい!ワクワクする!」と大興奮の子どもたち。保護者の皆さまにも笑顔があふれ、「認める・見守る・ともに楽しむ」の保育のモットーを象徴しています。

付属小学校

【石川台キャンパス】
所在地:〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
電話番号:03-3720-1097



「学びを創る学校」へ
時代を拓く「豊かな心」と「確かな学び」を育む!

校長 島野 歩 Shimano Ayumi

今、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、価値観の多様化、国際化など、その在り方も根本が問われています。しかしながら、このような時代だからこそ、私たちはぶれることなく、本学の建学の精神「人間愛」を礎に、「本校児童のあるべき姿」を教職員とともに求め続け、育んでいきます。その一つは「豊かな心」です。子どもたちの人を思いやる優しい心と明るい挨拶は、本校の誇りです。そして、もう一つは「確かな学び」です。自分から進んで学ぶ、自分の力で学んでいく、このような「学びの自立」は、これからの時代、とくに必要とされるものです。「教えられる学校」から「学ぶ学校」へ。「学びを創る学校」を、全力で希求してまいります。

学校生活



探究学習:STEAM教育

「学ぶこと・考えることを楽しむ」が本校の学びの在り方です。主体的に課題に対して探究する学びを実現すべく、本校では、STEAM教育を導入し、一人ひとりの学びを大切にしています。



充実した体験活動・縦割り活動

本校では「子どもの心に火をつけたい」と考えます。心についた火が、子どもたち一人ひとりの人生を変えていくものと信じるからです。9月には全校児童・全教員あがりの全校宿泊に出かけます。6年生のリーダーを中心とした縦割りは、子どもたちの強い絆となります。



防災の日

本校では、避難訓練・防災訓練を重要視しています。いついかなる瞬間に災害が起ころうとも、「自分の命は自分で守る」自助の精神がとても大切だからです。夏には「防災の日」として、自分の命を守るためのスキルを様々な学びます。



文教祭り

建学の精神「人間愛」を実践すべく、「文教祭り」「みたま祭り」「花まつり」など、心を見つめる行事を大切にしています。「文教祭り」では、父母の会の保護者の皆さまを中心に運営いただく企画が、子どもたちの楽しみの一つとなっています。

付属中学校

【旗の台キャンパス】
所在地:〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
電話番号:03-3783-5511(代)



正解のない時代を、
航海するために必要な力を培う

校長 神戸 航 Kambe Wataru

本校は校舎のことをPORTと呼んでいます。社会という大海原に出る準備をする場所という意味で、学校には港の機能と重なる部分が多くあるからです。学校は港と同じように、多様な文化・価値観を持つ人々が交流する場であり、これからの航海に必要な燃料や荷物を積む場でもあります。

海は不確実、複雑で曖昧といわれる社会と同様、いつも穏やかではありません。

本校では、港という学び舎で他者との関わりの中から協働する重要性を学び、日々の授業から航海に必要な教養・知識を習得し、キャリア支援からそれぞれの目的地までの地図と羅針盤を手に入れます。そして何より、航海に出て、どんな状況でも自信をもって自らの考えに従って目的地まで導くことができるようなマインドを育みます。

学校生活と教育環境



グローバルコンピテンスプログラム

主体的・創造的な考え方や異文化を尊重する姿勢・自信を持ちながら、柔軟に対応できるコミュニケーション能力を培う学習をします。外国人講師と日本人教師とのチーム・ティーチング形式で行われ、原則英語のみを使用することでグローバル社会を生きていく上で必要なスキルや知識、生きる姿勢や価値観を養い、世界に貢献できる人物の育成を目指します。

クリエイティブチャレンジ

総合的な学習/探究の時間の一環として実施。中学1・2年では自律心と社会性を学び、本格的な「探究」に向けての準備をします。中学3年からは自律協働型プロジェクトとして「解決したい」「力になりたい」「挑戦してみたい」テーマを自ら設定し、主体的かつ継続的に探究活動を展開し、未来の価値の創造を目指します。

付属高等学校

【旗の台キャンパス】
所在地:〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
電話番号:03-3783-5511(代)



学びを自分事化して、
グローバルに学ぶ

校長 能村 英達 Noumura Eitatsu

高校生活の基盤は、「学び」を自分自身に結びつけることから始まります。授業や学級活動、課外活動、読書等で育む「世界標準のものの考え方」を軸に知見を広げ、探究したい学びを自分事化することに取り組みます。学びの内容や活動を自分の事として捉えることで、世界や学びに対しての関わり方や働きかける力を養い、他者と関わりながら学びを深めていきます。

ここで最も大切にしていることは、自分事化した学びをグローバルに(地球規模で考え、地域で行動するように)学ぶことです。このように「学びを自分事化して、グローバルに学ぶ」ことで、地球規模の視点から身近な地域社会で貢献する経験を積み重ねてグローバル・アクション(世界へ飛翔する自発的な行動)を起こせるのが文教生の将来像です。本校のあらゆる活動を通して育んだ人間愛の精神をグローバルに発揮すべく、世界中で文教生の活躍の場が広がっています。



ICTを活用した学習指導

生徒全員が個人所有のタブレットPCを使用して調べ学習や発表・表現活動などに活用し、主体的な学びにつながっています。このタブレットPCは、全教室に完備された電子黒板とリンクさせた授業展開や自宅学習、オンライン学習にも役立っています。

充実した教育環境

文教大学付属中学校・高等学校のキャンパスのコンセプトは「PORT」(港)です。それぞれのPORTを行き来しながら、勉強だけでなくコミュニケーションの輪も広げ、人生の基盤を築いて着実な成長を遂げてほしいと考えています。そして、港から旅立った後に、ときどき立ち還ってもらえる場になりたいと思っています。



大学



3キャンパスの活性化

学長 **中島 滋** Nakajima Shigeru

文教大学には、埼玉県越谷市の越谷キャンパス、神奈川県茅ヶ崎市の湘南キャンパス、東京都足立区の東京あだちキャンパスがあり、7学部、5研究科、専攻科、外国人留学生別科があります。本学の3キャンパスは離れており、今まではキャンパス間および学部間の交流が希薄でした。しかし、近年急速に進歩したオンラインシステム等を活用して、離れたキャンパス間のオンライン授業や、オンライン会議を積極的に行い、キャンパス間および学部間の連携を深めています。本学は、建学の精神である「人間愛」を基盤とする一つの総合大学としてさらなる発展を遂げると確信しております。今後とも文教大学へのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

文教大学

- 教育学部**
- 人間科学部**
- 文学部**
- 情報学部**
- 健康栄養学部**
- 国際学部**
- 経営学部**
- 専攻科教育専攻科**
[教育学専攻]
- 外国人留学生別科**
- 大学付属研究所**
[教育研究所/生活科学研究所]
- 大学付属研究所**
[湘南総合研究所]

文教大学大学院

- 教育学研究科**
[学校教育専攻] (修士課程)
- 人間科学研究科**
[臨床心理学専攻] (修士課程・博士後期課程) / [人間科学専攻] (修士課程)
- 言語文化研究科**
[言語文化専攻] (修士課程・博士後期課程)
- 情報学研究科**
[情報学専攻] (修士課程)
- 国際学研究科**
[国際学専攻] (修士課程)
- 大学院付属研究所**
[臨床相談研究所/言語文化研究所]

**公益財団法人
大学基準協会**

文教大学は、2022(令和4)年度財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、「基準に適合している」と認定されました。

越谷キャンパス

所在地:〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
電話番号:048-974-8811(代)

教育学部 [学校教育課程] [発達教育課程]
学びをつなぎ、育ちを支える教育・保育のスペシャリストを育てます



人間科学部 [人間科学科] [臨床心理学科] [心理学科]
スポーツもビジネスも研究テーマ。あらゆる角度から、人間を科学しよう



文学部
[日本語日本文学科] [英語英米文学科] [中国語中国文学科] [外国語学科]
ことばによって世界を広げ、ことばによって世界とつながろう

湘南キャンパス

所在地:〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
電話番号:0467-53-2111(代)

情報学部 [情報システム学科] [情報社会学科*] [メディア表現学科]
より便利で豊かな社会の実現についてともに実践し考えていこう
※2025年度より情報社会学科の名称をデータサイエンス学科に変更します



健康栄養学部 [管理栄養学科]
健康とは何か。人間のカラダとココロを学び、その答えを見つけよう

東京あだちキャンパス

所在地:〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1
電話番号:03-5686-8577(代)

国際学部 [国際理解学科] [国際観光学科]
言葉を越えて、世界とつながるそんな4年間があなたを待っています



経営学部 [経営学科]
経営とは、社会とは、人間とは。4年間、ビジネスのあるべき姿を問い続けよう

国際交流(海外協定締結機関) (2024年4月現在)

中国	南開大学(天津) 北京大学 外国語学院(北京) 北京外国語大学(北京) 華東師範大学(上海) 中国師範大学 外国語学部(廊坊)	カナダ	マギル大学(モントリオール) プリティッシュコロンビア大学付属語学学校(バンクーバー) ランガラカレッジ(バンクーバー)※ ビクトリア大学付属語学学校(ビクトリア) エドモントン・カレッジ(リンウッド)※ オレゴン州立大学(コバリス) チャールズ郡教育委員会(チャールズ郡) ハワイ大学マノア校 旅行産業経営学科(ホノルル) ミシガン州立大学付属語学センター(イーストランシング) テンブル大学ジャパンキャンパス(東京) ジェームズタウンコミュニティカレッジ(ジェームズタウン)
台湾	実践大学(台北・高雄)※	米国	ダブリンシティ大学付属語学学校(ダブリン) デュッセルドルフ大学(デュッセルドルフ) オズナブリュック大学 社会科学部(オズナブリュック)※
モンゴル	モンゴル国立科学技術大学(ウランバートル)	アイルランド	ECマルタ(セントジュリアンズ)
韓国	韓国外国語大学校(ソウル) 韓国極東大学校(忠北陰城) 誠信女子大学校(ソウル)	ドイツ	サザンクロス大学(リズモア)※ ウーロンゴン大学付属カレッジ(ウーロンゴン) カンタベリー大学(クライストチャーチ) クライストチャーチカレッジ[カンタベリー大学連携校] (クライストチャーチ) ワイカト大学(ハミルトン)
タイ	プリンスオブソクラ大学(プーケット) タイ早稲田日本語学校(バンコク)	オーストラリア	ワイカト大学(ハミルトン)
ベトナム	FPT大学(ハノイ・ダナン・ホーチミン) ハイフォン公立大学(ハイフォン) ウタラ大学(シントク)	ニュージーランド	
マレーシア	アジアパシフィック大学(クアラルンプール) マレーシア工科大学(ジョホールバル)※ マレーシア大学ベルリス校(アラウ)		
インドネシア	バリ情報科学大学(バリ島デンパサール) トリアトマムリア大学観光学部(バリ島北タ)		
フィリピン	エンデラン大学(マニラ) アテネオ・デ・ナガ大学(ピコル)		

※協定更新中

教員採用実績

学校名	小学校教員採用人数	中学校教員採用人数	合計
北海道教育大	313名	151名	464名
愛知教育大	318名	126名	444名
福岡教育大	303名	67名	370名
東京学芸大	237名	83名	320名
大阪教育大	206名	101名	307名
文教大	178名	128名	306名

私立大学
**全国
1位**

**義務教育学校
(小学校・中学校)
教員採用者数**

教員採用者数
累計で
1万人を突破

出典:朝日新聞出版「大学ランキング2025」より大学調べ



「人間愛」のこころで人を育てる。
教育力を経営に活かす。

2009年度より文教大学学園は、学園経営戦略(中期経営計画)を実施。

今期は、「BUNKYO ACTION PLAN 2025」として

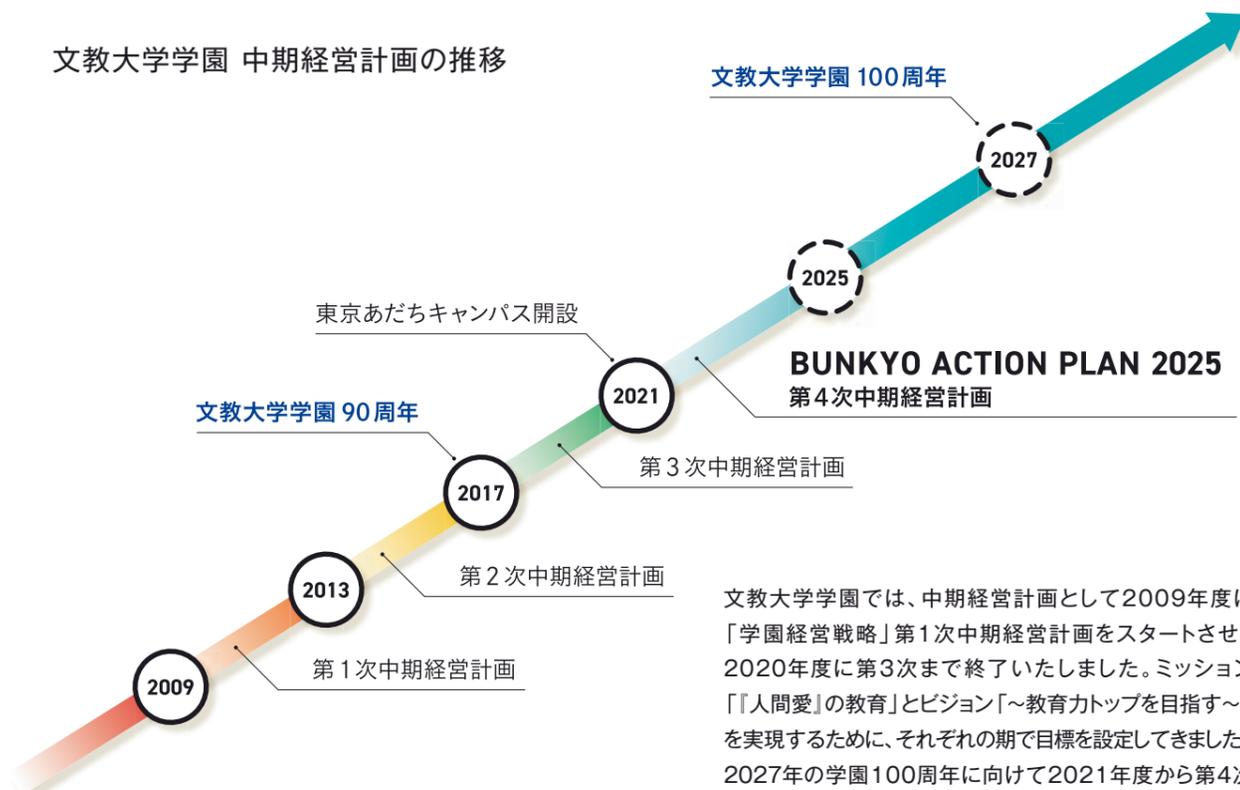
2021年度に策定した中期経営計画をスタートさせ、学園改革を継続的に進めていきます。

BUNKYO ACTION PLAN 2025 (中期経営計画)

2021年度から新たにスタートした、「BUNKYO ACTION PLAN 2025」は、これまで実施してきた、学園経営戦略(中期経営計画)の総括を踏まえ、学園のミッション「『人間愛』の教育」及びビジョン「教育カトップを目指す」を継承し、第3次中期経営計画において実行した「各校の改革の実質化を図るために、各校の主体性を重視し、各校における具体的な目標や事業計画(アクションプラン)を主体となる各校が策定・実行、経営は組織や財政、教育環境等の面で各校を下支えする構造」の枠組みを踏襲しながら、浮かび上がった各種課題を改善し、より教職員が主体的に推進できる計画としています。

学園の達成指標を実現するために、各校単位で4年後の目標と達成指標を掲げ、カテゴリーごとに「4年後の具体目標」が示され、「アクションプラン、具体的な取り組み内容、実施スケジュール、実行体制、各アクションプランの達成指標等」を策定しています。

文教大学学園 中期経営計画の推移



文教大学学園では、中期経営計画として2009年度に「学園経営戦略」第1次中期経営計画をスタートさせ、2020年度に第3次まで終了いたしました。ミッション「『人間愛』の教育」とビジョン「～教育カトップを目指す～」を実現するために、それぞれの期で目標を設定してきました。2027年の学園100周年に向けて2021年度から第4次を開始し、さらに改革を推進していきたいと考えています。

『BUNKYO ACTION PLAN 2025』の構成及び実施体制

I アクションプラン

『BUNKYO ACTION PLAN 2025』では各校の改革推進の実質化を図るために、推進主体である各校が学園の「4年後の目標」のもと、下記①～④を策定し、実行していきます。また、「経営・管理」は各校のこうした計画を下支えする体制としています。

① 4年後の目標

4年後に各校が「目指している姿」を設定

② 達成指標

「4年後の目標」が達成しているかどうかを判断・評価するための目安となるものを設定

③ 4年後の具体目標

各カテゴリーで可能な限り絞り込んだ具体的に目指すものを設定

④ アクションプラン

具体目標を実現するための施策を設定

II ビジョンマップ

学園の「ミッション」及び「ビジョン」に基づいた学園全体の「4年後の目標」と「達成指標」を設定し、そこから各校との連携及びアクションプランとのつながりをわかりやすくするためにマップ化しました。(P11,12参照)

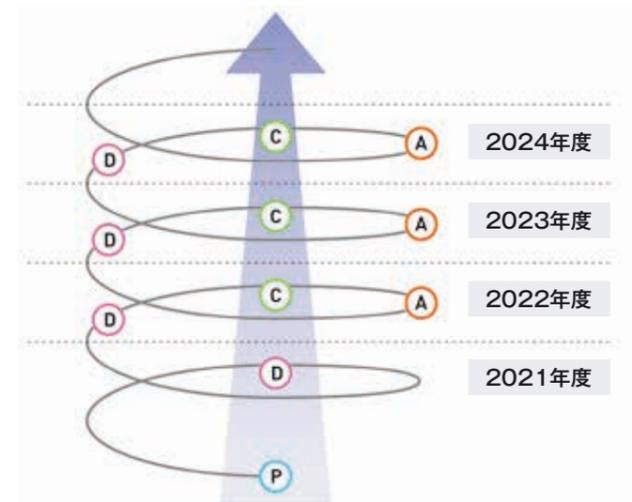
III 実施体制

各校が主体となり、各アクションプランを実行していきます。理事会は「経営・管理」のアクションプランを実行していくことと合わせて、評価・改善の部分でも関わることで、各校の計画推進の支援を担います。

IV 進捗管理

PDCAサイクルで、計画・実行・評価・改善を行うことで、計画を推進していきます。各校から年1回、理事会にアクションプランの進捗や達成状況について報告をすることで、達成状況の評価を行い、改善が必要な場合は、各校と理事会で相談し、最適な方法を模索し実行します。

『BUNKYO ACTION PLAN 2025』の進め方(PDCA)



- P** PLAN: 計画的段階
- D** DO: 実行段階
- C** CHECK: 評価段階
- A** ACT: 改善段階

『BUNKYO ACTION PLAN 2025』の詳細は、以下URLよりご確認ください。
https://www.bunkyo.ac.jp/academy/information/action_plan2025/

ミッション
Mission

『人間愛』の教育

長期ビジョン
Vision

～教育力トップ を目指す～

4年後の目標

総合学園の維持・発展

「ていねいにたくましく育てる文教」を実践し、
トップクラスの教育機関を実現する

達成指標

学習者1万人以上、学習者の満足度90%以上

大学

4年後の目標
学生が成長を実感できる大学

達成指標
学生生活の満足度向上、
実志願者数7,000人の確保

アクションプラン

- 重点事業**
○大学認知度の向上とアイデンティティの醸成 **A101 A102**
- 学生募集**
○志願者・入学者の安定的な確保 **A103 A104**
- 教育**
○質の高い教育の実施 **A105 A106 A107**
- 研究**
○研究体制の充実 **A108 A109 A110**
- 学生支援**
○充実した学生生活の提供 **A111 A112 A113 A114**
- 附属学校**
○総合学園としての発展 **A115**
- 地域社会貢献**
○大学と地域との連携による学内の活性化 **A116 A117**
- 国際交流**
○国際交流の活性化 **A118 A119**

中学校・高等学校

4年後の目標
『人間愛』の精神を育み、
グローバルな社会・ボーダレスな
社会で活躍できる人間の育成

達成指標
●生徒・保護者の本校への
入学満足度90%の達成
●難関大学合格者130人以上の達成

アクションプラン

- 募集・広報**
○入学者の質と量の確保 **B101**
- 教育**
○生徒の学力向上 **B102 B103 B104 B105**
- 研究**
○教員の指導力向上 **B106 B107**
- 生徒生活**
○礼儀と規律ある生徒の育成 **B108 B109 B110**
- 進路・キャリア**
○更なる進学実績の向上 **B111 B112 B113**
- 地域・社会連携**
○『人間愛』の精神の育成 **B114 B115 B116**
- 国際交流**
○海外研修プログラムの推進 **B117 B118**

小学校

4年後の目標
「ふるさとのような学校」において
世界に羽ばたく国際人の育成

達成指標
●倍率3倍以上の安定した志願者の確保
●在校生並びに保護者の満足度
90%以上の達成

アクションプラン

- 募集・広報**
○倍率3倍以上の安定した志願者の確保 **C101 C102 C103**
- 教育**
○Society5.0時代を生き抜く人材育成
○21世紀型スキルとしてのSTEAM教育の推進
C104 C105 C106 C107
- 研究**
○1時間ごとに成長できる学校「深い学び」の推進
○文教大学附属小学校型アクティブラーニングの確立
C108 C109
- 児童生活**
○人間愛あふれる「文教っ子八か条」に基づく
豊かな教育の実践と推進 **C110 C111 C112**
- 進路指導**
○一人ひとりの夢を実現させる進路指導 **C113 C114 C115**
- 保護者・社会連携**
○学校教育と家庭教育の連携
○地域に貢献し地域に愛される私立小学校としての確立
C116 C117 C118
- 国際交流**
○オーストラリア短期留学の充実 ○外国語教育の充実 **C119 C120**

幼稚園

4年後の目標
満足度が高い選ばれる幼稚園

達成指標
募集定員60人の安定確保

アクションプラン

- 募集・広報**
○安定した入園者の確保 **D101 D102 D103 D104 D105 D121**
- 教育**
○素直で明るい元気な子どもの育成 **D106 D107 D108**
- 研究**
○新幼稚園教育要領に則したカリキュラム作り **D109 D110 D111**
- 園児生活**
○遊びを通して“生きる力の素”を育む **D112 D113 D114**
- 進路支援**
○附属小学校及び希望する小学校への進学実現
D115 D116 D117
- 保護者・地域連携**
○保護者との連携強化・地域に根ざした幼稚園の確立
D118 D119 D120

経営・管理

アクションプラン

- 組織**
○変化に対応できる組織力の強化
K101 K102 K103

- 財政**
○強固な財政基盤の確立
K104 K105 K106 K107 K108

- 教育環境**
○競争力を持った教育環境の整備
K109 K110 K111

- 学園ブランド**
○学園ブランドの強化
K112 K113

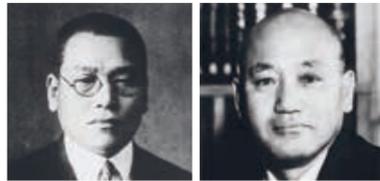
沿革

1万人の総合学園へ至る 97年の歩み

創立

1927年～

女子教育の先覚者であった馬田行啓、小野光洋により、法華経を基盤とした立正精神を建学の精神とする立正幼稚園・立正裁縫女学校を創立。



創立者 馬田行啓 創立者 小野光洋

布石

1947年～

戦災による全校舎焼失を乗り越え、中学校・高等学校・短期大学を設立し、総合学園への布石を築く。



発展

1976年～

大学名称を「文教大学」に改め、大学7学部・専攻科・大学院5研究科・外国人留学生別科・高等学校・中学校・小学校・幼稚園を擁する現在の総合学園の完成に至る。



- 1927年 立正幼稚園、立正裁縫女学校を荏原郡大崎町(現:品川区東大崎)に創立。
- 1929年 立正学園女学校に名称変更し、荏原郡荏原町(現:品川区旗の台)へ移転。
- 1947年 立正学園中学校、立正学園石川台中学校を設立。
- 1948年 立正学園女子高等学校、立正学園石川台女子高等学校を設立。
- 1951年 財団法人立正学園から学校法人立正学園へ変更。
- 1953年 立正学園女子短期大学を設立。家政科を設置。
- 1966年 立正女子大学を埼玉県越谷市に設立。家政学部 家政学科を設置。(越谷キャンパス開設)
- 1969年 立正女子大学に教育学部初等教育課程、中等教育課程を設置。
- 1976年 立正女子大学に人間科学部人間科学科を設置。立正女子大学を文教大学、立正女子大学短期大学部を文教大学女子短期大学部、立正女子大学教育学部付属立正学園中学校を文教大学付属中学校と校名変更。
- 1977年 文教大学を男女共学とする。立正学園女子高等学校を文教大学付属高等学校と校名変更。
- 1980年 情報学部広報学科、経営情報学科を設置。
- 1983年 学校法人立正学園を学校法人文教大学学園と法人名称変更。
- 1985年 情報学部、女子短期大学部を神奈川県茅ヶ崎市に移転。(湘南キャンパス開設) 旗の台校舎に文教大学経営情報専門学校を設立。文教大学付属立正小学校を文教大学付属小学校と校名変更。
- 1986年 情報学部情報システム学科を設置。
- 1987年 文学部日本語日本文学科、英米語英米文学科、中国語中国文学科を設置。
- 1988年 経営情報専門学校に実務英語科を設置。
- 1990年 国際学部国際学科を設置。
- 1992年 立正幼稚園を文教大学学園幼稚園と校名変更。専攻科教育専攻科を設置。
- 1993年 大学院人間科学研究科を設置。外国人留学生別科を設置。
- 1995年 経営情報専門学校に総合ビジネス科を設置。
- 1998年 人間科学部に臨床心理学科を設置。
- 1999年 大学院に言語文化研究科を設置。
- 2000年 大学院に人間科学研究科(博士後期課程)を設置。国際学部国際コミュニケーション学科、国際関係学科を設置。
- 2003年 教育学部に心理教育課程を設置。
- 2005年 大学院に情報学研究科、国際協力学研究科を設置。文教大学学園幼稚園を文教大学付属幼稚園と校名変更。
- 2007年 大学院に教育学研究科を設置。
- 2008年 人間科学部に心理学科を設置。
- 2010年 健康栄養学部管理栄養学科を設置。
- 2012年 大学院に言語文化研究科(博士後期課程)を設置。
- 2014年 経営学部経営学科を設置。情報学部情報社会学科、メディア表現学科を設置。
- 2015年 大学院に国際学研究科を設置。
- 2017年 文学部に外国語学科を設置。
- 2020年 教育学部に発達教育課程を設置。
- 2021年 国際学部、経営学部を東京都足立区に移転。(東京あだちキャンパス開設)

(抜粋版)

組織図

2024年度 学園事務組織体制

